研修コード： 526　　申込期限:R8.7.17

【集合】合同･ナッジ理論活用

● **研修のねらい**

・行動経済学・ナッジ理論※について、活用事例などを踏まえ理解する。
・ナッジを活用した、より効果的な事業施策への活用方法の基本スキルを資料作成演習により習得する。
※ナッジ(nudge)とは、「ひじでそっと押す」という意味。ひじをちょっとつついて「良い選択ができるように人々を手助けする」方法論です。

● **この研修のおすすめポイント**

・税の口座振替納付率を上げたい
・がん検査受診率を上げたい
・チラシや文書の文言を工夫して、お金をかけずに住民に行動を促す方法を習得できます。研究と実践の第一人者の講義を聞ける貴重な機会です。

● **日程・開催場所**

令和８年９月４日（金）　自治総合研修センター

● **予定人員**

６０人（県２６人、市町３４人）

● **対象者**

（県・市町）希望する職員

● **講師（予定）**

≪大阪大学特任教授（常勤）　大竹　文雄≫
大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021 年から現職。専門は行動経済学・労働経済学。格差問題の実態と原因を実証した著書『日本の不平等―格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞等を受賞。著書多数。

● **標準プログラム**

１日　　合計６．０時間（**フォローアップ対象の研修です**）
９：25 － ９：30　オリエンテーション
９：30 － 16：30　・行動経済・ナッジ理論の基礎知識
　　・自治体の活用事例
　　・ナッジを活用した問題解決・資料作成・演習
16：30 － 16：45　閉講

◇受講者の声

・講師の説明が明確で、理論と実践のバランスが良く学びを深めることができた。
・何か問題に直面した際には、行動を分解し、ボトルネックを見つけて解決策を分析したい。